

TOPICS



プロの小説家に学ぶ！小説教室、開催！

7月20日(月)と8月9日(日)に、文化会館1F会議室で小説教室を開催しました。講師に北秋田市在住のライト文芸作家・木立花音先生をお招きし、市内外から13名の参加者が受講し、小説を書くスキルを学びました。

実践では、「雨が止んだあと」というお題で、実際に短編小説を書いてみました。同じテーマでも、一つとして似た作品はなく個性の光る短編が集まりました。小説とは何か、といった基本的なことから推敲のテクニックまで、幅広く小説を書くためのノウハウを丁寧に講義していただきました。木立先生、ありがとうございました。

今回書いていただいた短編は、公開可能な作品のみみなさまに読んでもらえるよう準備しております。まずは、3作品の冒頭のみ今号の図書館だよりでお楽しみください。

令和8年度北秋田市読書感想文コンクール

高校・一般の部、募集します！

応募資格 北秋田市内に在住、在学、在勤する方

応募規定 本文 2,000字以内

募集期間 8月17日(月)～10月16日(金)

優秀作品には**素敵な賞品**が！応募者みなさまに**参加賞**も！

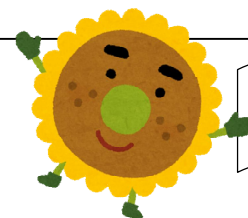
去年の高校・一般の部の募集数は3作品でした…。

自分のお気に入りの本を誰かに勧めるために書いてみたり、自分の心と向き合うために書いてみたり…ぜひ**読書のアウトプット**をしてみましょう！本への理解が深まり、読書がもっと楽しくなります。

蔵書点検のお知らせ

蔵書点検のため、下記のとおり休館します。ご利用の皆様には休館中ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

鷹巣図書館 8/24(月)～8/31(月)



おはなし会のお知らせ

【おはなしでてこいに】

8/2(日) 11:00(鷹巣図書館幼児コーナー)

【おはなしぱれっと】

8/8(土) 14:00(森吉図書館)

【おはなしでてこい】

8/15(土) 14:00(鷹巣図書館エントランス)

【なつのおはなし会】

8/18(火) 10:00(合川公民館ホール)

■ 鷹・森休館 ○ 鷹休館 □ 森休館

8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 (30)	24 (31)	25	26	27	28	29

鷹 巣図書館

電話 0186-62-1707
開館時間 9:00～19:00
(土日祝9:00～17:00)

森 吉図書館

電話 0186-72-3192
開館時間 9:00～17:00

合 川公民館図書室

電話 0186-78-2114
開館時間 8:30～19:00

阿 仁公民館図書室

電話 0186-82-2220
開館時間 8:30～19:00

本の検索・予約ができる！

蔵書検索



湿度100%のディストピア

ここは本当にディストピアなのか？それとも――

現役漫画原作者・水水水水水先生の短編小説！

切れ者女上司 × 大男部下 が織りなすオフィスドラマ
ここに開幕！

雨の中遭難した、しのぶとそうへい。

2人は無事に合流できるのか？

最後まで見逃せないハラハラ遭難ハイキング！



セミ丸「雨が止んだら」

噓せかえるような湿気と暑さに息苦しさを覚え、俺は目が覚めた。
また、雨が降ってきた。
温暖化の影響によるものか、近頃の雨は降るとなると一度に降ってくる。
経年劣化がすすんだこの地下室の壁からは水が浸みだし、補修に気をとられている間に今度は床も浸水しはじめた。
「もう、うんざりだ」
思うよりも先に言葉が出てしまう。どのくらい経つだろうか、奴等から逃れてここへやってきてから。
俺の兄弟はみんな奴等に殺された。
助けたくても助けるどころの話ではない、そのときは逃げるだけで精一杯だった。群れることで安慰を得る奴等は、ひとたび異物を見つけると一つのかたまりとなって敵に襲いかかる。
それ以上に厄介なのは、奴等が団結するために敵を必要とするところだ。
排他的な反面、積極的に敵を探そうとする。
その矛盾の捌け口として一方的に敵とみなされ襲われる方からすれば、迷惑以外のなものでもない。
群れない俺達には敵など必要ないというのに。
執念深い奴等はいまだに俺のことを探し続けている。

1

文庫ページメーカー（フォント：源蔵こぶり明朝）

水水水水水「可処分晴天事業」

「言っておきますけど『雨』Ⅱ『飴』などという短絡的な発想はなしですよ？」
上司である天宮の言葉に、進藤は拳手した手をすごすごと下すほかなかった。図星を突かれたことを切れ者の女上司が見落とすはずもなく、深々とため息をついたあと、目を泳がせる進藤に問いかけた。
「……本当にそれが面白いと思ったのですか？」
「いえ。分かりやすいかなと思っただけです……」
こういうときばかりは、大柄な自分の体躯が恨めしくなる。
同じ会議机に着いているというのに、天宮と視線を合わせるには、進藤のほうが大きく顔を伏せなければならぬ。小柄な女上司に叱責されて縮こまる大男というのは、傍から見ればずいぶん滑稽な光景だろう。せめて自分の体格がもう一回り小さければ、ありふれた職場風景で済んだものを。
「もう少し想像力を働かせてください。そんな企画をやるものなら、PTAと歯科医師会から苦情が来ます」
地域活性プロジェクトの一環として、雨天時の企画が文化振興課に回ってきたのは、単なる消去法だった。他の課は晴天時の企画に人手を取られ、雨の日にはまで手が回らない。それだけの理由である。

1

文庫ページメーカー（フォント：源蔵こぶり明朝）

あんずあめ「二人きりのハイキング」

【ハイキング 休憩ポイント】
しのぶ「ハア ハア ハア」
しのぶ、みんなから遅れて休憩ポイントに到着
今日は五年生のハイキングで近くの山に登っている
クラスメイトのそうへい君が声をかける
そうへい「遅っせー ぶりだぜノボタン リュック見してみ」
しのぶ、返事できないへたり込む
そうへい「あああ、何でこんなに荷物多いんだよ 重いやつ俺持っからな」
しのぶ「そうへいくん ゴメン」
しのぶ『そうへいくん、クラスのリーダーポジだから足出まといの私まで心配する羽目に……』
そうへい「ここでリタイヤしてもいいけどどうする？」
しのぶ「頂上（てっぺん）登りたいから」
そうへい「よしじゃあてっぺん取りに行くか 五分休んだらな」
【頂上】
頂上ではクラスメイト達もう到着してお昼を食べている
自分たちの学校が小さく見える

1

文庫ページメーカー（フォント：源蔵こぶり明朝）

「雨が止んだあと」がとても効果的に生きている作品。

主人公の「俺」のラストシーンには、頑張れと応援したいような、逆に背中を押してくれるような、そんな勇気に溢れた幕引きに、感嘆のため息が零れること間違いなしの一作！

流れるように読めるラノベ調のオフィスドラマ。
きれいな伏線回収、考えられた構成、雨というテーマの光り方、キャラが立っていることなど、どれをとっても整った一編。

それもそのはず、現役で活躍されている漫画原作者・水水水水水先生の短編小説です。

気になった方はぜひ、先生の『神獣の執刀医』もチェックしてみてください！

クラスのリーダー的男子・そうへいと、崖から落ちてしまった足手まといの女子・しのぶ。

そんな2人が、雨の中みんなとはぐれてしまっ……。
2人だけのハイキングの先にあるものは？

はたして合流できるのか？と最後までドキドキハラハラ。オチの一文まで見逃せない、ハプニング小説。